

## 生活支援体制づくり 協議体

## ～熊地区部会だより～

### 【生活支援体制整備事業って？】

「皆さんが住み慣れた『くんま』で自分らしい生活をするためにお互いに支え、支えられる関係づくりや仕組みを考える事業」です。

地域で、すでに取り組まれている活動の情報を持ち寄り、既にある仕組みなどを強化することで解決できるのか、新たな仕組みを作らなければ解決できないことなのか、話し合いをします。話し合いの結果、新しい仕組みが必要であれば、その仕組みをみんなで考え、より住みやすい地域にしていこうというものです。

### 【協議体って？】

地域の中の様々な団体・事業所・個人で、他の地区について話し合うのではなく、自分たちの住む「くんま」の地域について話し合っていく「熊地区部会」が設置されています。

### 【これからの共生社会に向けて】

今までサービスを受ける側であった人もあわせてすべての人が、自分が出来ること・得意なことを地域で活かしてもらうことで、誰かの担い手になることができます。これからは高齢者も子どもも、障がいのある人もみんなが得意なことを持ち寄って支えあえる地域をつくっていきましょう！

困ったらお互い様。  
こんなことが得意で  
手伝えるよ！



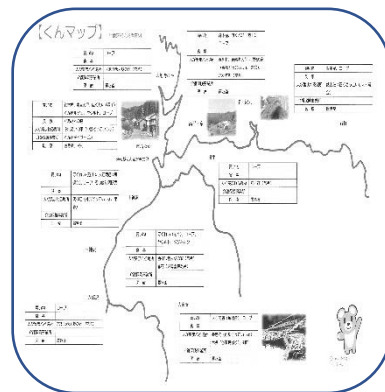
### ～熊地区部会のこれまで～



12月の様子

令和2年9月 熊地区の現状について話がだされました。

12月 熊地区の住民同士の見守りについて、地域の中でどんな所に人が集まり、交流をしているのか地図に書き込み「くんマップ」を作成しました。



令和3年4月 現在の取り組みや地域の福祉課題、近年話題の「ふれあいバス」について皆さんに知っていただくための広報紙を作ろうということになりまとめました。

7月 広報誌の構成を話し合いました。



## ～ふれあいバスについて実際に使っている人にインタビューしてみました～



旭 鈴木利子さん

(主な利用目的は?)

- ・通院のために使ってるだよ

(ふれあいバスの良いところを教えてください)

- ・路線バスよりほかの乗客と会話が弾む気がするねえ。
- ・降りるときは家の前で止まってもらえることが嬉しい。

(利用していて困っていることは?)

- ・シルバーカーって持ち込んでもいいのかなえ？  
→ワゴン型は1～2台なら大丈夫だそうです、予約時に伝えておくと良いそうです。
- ・受付の人にはもっとゆっくり話してほしいねえ
- ・「いち」「しち」「はち」は同じように聞こえるし、もっと工夫が必要かもしれないねえ



柴 海老原政彦さん

(主な利用目的は?)

- ・家族の車が使えない時に外出の必要があると使っています

(ふれあいバスの良いところを教えてください)

- ・柴の住民にとっては支線が出来たことによって、最寄りのバス停が近くなったと思いますよ。
- ・運行当初よりも、安全への配慮や受付の対応が良くなっていると感じます。

(今後考えてほしいことはありますか?)

- ・高齢者のためにトイレの配慮があるととても便利になると思います。

いくつになってもくんまで安心して暮らすために

年をかさねても、くんまで安心して生活をするには、地域にどんな活動があればいいだろう？一緒に考えてみませんか？「誰かのため」でなく「私のため」に一緒に話し合いたい！都合のつく時だけの参加でも大丈夫！興味のある方は右記にご連絡ください。

連絡先  
浜松市社会福祉協議会天竜地区センター  
電話：926-0322 担当:前嶋